

第1449回 千葉医学会整形外科例会

ウェブ開催（ライブ配信）

令和3年12月3日（金）15：00より（大学院部門）

令和3年12月4日（土）7：45より（一般部門）



千葉大学大学院医学研究院整形外科学

- 発表は音声付きスライドをライブ配信します。
Windows PowerPointで作製した音声付きスライドを指定期間内に提出してください。
- 口演時間は全て3分です。
口演時間は厳守してください。
- 質疑応答は簡潔にお願いします。
全て一括討論を行います。
- 本年度は参加費はありません。
- 千葉医学会に未入会の方は必ず入会して下さい。
- 千葉医学会費（5,000円）、いのはな同窓会費（5,000円）、医会費（10,000円…卒後10年まで）、同門会費（令和3年度まで未納分）の納入は、別途案内させていただきます。
- 千整会忘年会は中止とさせていただきます。
- 当日行われる会議は下記の通りです。
 - 一般社団法人千整会理事会
12月3日（金）18：30～19：00
ウェブ会議
 - 関連病院医長会議
本年度は中止とさせていただきます。
 - 一般社団法人千整会社員総会
12月4日（土）12：10～12：30
ウェブ会議

※ウェブ会議の詳細は、後日該当先生へ別途ご案内させていただきます。

千葉医学会整形外科例会・千整会Awardに関する規約

- * 千葉医学会整形外科例会発表の中から特に優秀な3演題を対象とする。
(基礎部門1演題、臨床部門1演題、若手部門(卒後4年以内)1演題)
- * 平成24年度より1例報告部門は臨床部門に統合し、代わりに若手部門を新設した。
若手部門は卒後6年目まで、かつ大学院帰局前の医師が筆頭演者として発表する演題を対象とする。
- * 選考は例会の行われる2日間で選考委員によって決定される。
- * 座長と選考委員の評価によって決定する。ただし座長や選考委員が共同演者の場合は評価より除外する。基礎、臨床、若手それぞれ最優秀演題を決定する。
- * 採点項目は、1)発表内容、2)スライド、3)発表口調、4)質疑応答、5)発表時間の厳守で構成される。
- * 最終選考会議にてAwardを決定する。
- * 受賞者へは賞状と賞金50,000円を授与する。

以上

千整会Award選考委員長
聖隷佐倉市民病院 名誉院長
南 昌平

千葉医学会整形外科例会・千整会Award歴代受賞者氏名

第1回 平成16年度

基礎部門

椎間板髄核投与により後根神経節に生じる変化" Inflammatory Crescent"
国立下志津病院整形 村田 泰章

臨床部門

前方椎弓根スクリューを用いた長範囲頸椎前方固定術
国保成東病院整形 新 昶 正 明 腰 塚 周 平
門 田 領 山 本 晋 士
古 矢 丈 雄

第2回 平成17年度

1例報告部門

対麻痺が癌の初発症状となった転移性胸髄内腫瘍の1例
千葉大整形 成 田 都 萬納寺 誓 人
宮 下 智 大 門 田 領
西 尾 豊 山 田 寛 明
染 谷 幸 男 大 河 昭 彦
山 崎 正 志
千葉市立青葉病院整形 村 上 正 純

基礎部門

γ7脊髄損傷に対するG-CSF (granulocyte colony stimulating factor)の治療効果とその機序について
千葉大学大学院 西 尾 豊

臨床部門

神経筋原性脊柱変形に対する下位腰椎までのinstrumentation手術(脊柱変形と骨盤の矯正効果)
国立千葉東病院整形 高 相 晶 士 井 上 雅 俊
船橋整形外科西船クリニック 中 田 好 則
聖隷佐倉市民病院整形 南 昌 平 小 谷 俊 明

第3回 平成18年度

1 例報告部門

重症睡眠時無呼吸症候群を合併したリウマチ性高度環軸椎垂直亜脱臼の1例

松戸市立病院整形 赤木 龍一郎 丹野 隆 明
品田 良之 飯田 哲
安宅 洋美 金 泰成
佐野 栄 藤塚 光 慶

基礎部門

Wnt-Rykシグナルは脊髄損傷後の軸索伸展を阻害し機能回復を制限する

千葉大学大学院 宮下 智大

臨床部門

Sprengel shoulderの治療成績

千葉県こども病院整形 西須 孝 亀ヶ谷 真琴
見目 智紀

第4回 平成19年度

1 例報告部門

外傷後に発症したchylous knee effusionの1例

国立病院機構千葉東病院整形 田原 正道 勝見 明
赤澤 努 大塚 嘉則
千葉県救急医療センター整形 北原 聡太

基礎部門

ラット脊髄由来Glial-Restricted Precursorの分離とAstrocyteへの分化誘導

千葉大学大学院 古矢 丈雄

臨床部門

アンカーを用いない鏡視下腱板修復術の治療成績

松戸整形外科病院整形 石毛 徳之 黒田 重史
住吉 徹是 丸田 喜美子
篠原 寛休

第5回 平成20年度

1 例報告部門

膝関節内に生じた滑膜血管腫の1例

千葉大整形 星 裕子 佐 粧 孝 久
中 川 晃一 鶴 岡 弘 章
東 山 礼 治
井上記念病院 小 林 幸 平

基礎部門

ラット脊髄圧挫損傷モデルにおけるグリア前駆細胞由来アストロサイト移植の検討
千葉大学大学院 古 矢 丈 雄

臨床部門

腱板不全断裂に対する鏡視下腱板修復術の治療成績

松戸整形外科病院整形 石 毛 徳 之 黒 田 重 史
住 吉 徹 是 丸 田 喜 美 子
篠 原 寛 休

第6回 平成21年度

1 例報告部門

頸椎OPLLに合併した椎間板ヘルニアにより急性四肢麻痺をきたし、術後著しい脊髄腫脹を呈した1例 -その病態について-

松戸市立病院整形 萩 原 茂 生 安 宅 洋 美
宮 下 智 大 品 田 良 之
飯 田 哲 河 本 泰 成
鈴木 千穂 佐 野 栄
高 澤 誠
松戸整形外科病院脊髄センター 丹 野 隆 明

基礎部門

骨粗鬆症モデルラット腰椎の感覚神経支配の特性とリセドロネート投与および運動療法がもたらす効果
千葉大学大学院 折 田 純 久

臨床部門

当院における経皮的内視鏡下腰椎椎間板摘出術(PELD)70例の経験

小見川総合病院整形 清 水 純 人 佐 藤 正 樹
染 谷 幸 男 加 藤 啓

特別賞

自家細切軟骨片と滑膜細胞の同時移植による関節軟骨欠損の修復

千葉大学大学院 Louay Fallouh

第7回 平成22年度

1 例報告部門

ポリエチレンの磨耗により人工膝関節術後前方脱臼をきたした1例

千葉大学整形 佐藤 祐介 鈴木 昌彦
佐 粧 孝久 山口 智志
小林 達也 池川 直志
齋藤 雅彦 赤木 龍一郎

基礎部門

体外衝撃波照射によるラット神経筋接合部の破壊と再生

千葉大学大学院 見目 智紀

体神経障害性疼痛に対する内因性オピオイド前駆物質遺伝子導入による鎮痛効果

千葉大学大学院 石川 哲大

臨床部門

後十字靭帯温存型人工膝関節の最大屈曲角度に関連する因子の検討

千葉大学大学院 小林 達也

第8回 平成23年度

1 例報告部門

骨端線を伴う若年者前十字靭帯付着部剥離骨折の2例

松戸整形外科病院整形 石毛 徳之 篠原 寛 休
藤塚 光慶 住吉 徹 是
黒田 重史 丹野 隆 明
丸田 喜美子 安宅 洋 美
村田 亮 荻野 修 平

基礎部門

椎間板動的圧迫は椎間板局所の持続的な炎症と神経傷害を惹起する

ーラット尾椎椎間板穿刺圧迫モデルを用いた検討ー

千葉大学大学院 宮城 正行

臨床部門

むかで競争における外傷調査 (第3報)

北里大学医学部整形 東山 礼治
渡辺病院整形 宮本 周一 高森 尉之
平山 博久 渡辺 英一郎

第9回 平成24年度

若手部門

環軸椎の後方転位を伴った歯突起骨折の一例

君津中央病院整形

宮本卓弥	大塚誠
蓮江文男	中嶋隆行
藤由崇之	山内友規
竹下宗徳	大田光俊
廣澤直也	

基礎部門

Mmp13に対するshort interfering RNA (siRNA) の膝関節内注射投与による変形性膝関節症進行抑制効果の検討

千葉大学大学院 赤木 龍一郎

臨床部門

腰椎変性後側弯に対する前後合併矯正固定術の成績

千葉大学整形

大鳥精司	折田純	久都
山内かづ代	鈴木剛	秀夫
佐久間詳浩	久保田一	秀夫
及川泰宏	稲毛幸	夫
西能健	中田幸	夫

第10回 平成25年度

若手部門

両側椎骨動脈周囲に進展した骨巨細胞腫に対して術前の椎骨動脈血行再建・塞栓術が有用であった1例

千葉大整形

小野嘉允	大田光俊
古矢丈雄	稲田大悟
神谷光史郎	牧 聡
國府田正雄	

基礎部門

ラット股関節nerve growth factor投与モデルにおける支配感覚神経の特性の変化に関する検討及び疼痛行動評価

千葉大学大学院 大前 隆 則

臨床部門

3D MRIによる足関節外側靭帯の形態評価

千葉大整形

山口智志	渡辺淳也
向山俊輔	村松佑太
赤津頼一	葛城穰
府川泰輔	遠藤純
佐粧孝久	
松本浩史	

千葉大学医学部付属病院放射線部

第11回 平成26年度

若手部門

陳旧性大胸筋腱断裂の1例

金沢病院整形 貞 升 彩 脇 田 浩 正
高 橋 仁 高 山 篤 也

基礎部門

Extended Extensor Digitorum Communis (EDC) splitting approachの解剖学的検討－尺骨茎状突起骨折の内固定を目的として－

千葉大学大学院 助 川 浩 士

臨床部門

馬尾神経鞘腫摘出術に伴う神経脱落症状

千葉大整形 古 矢 丈 雄 國府田 正 雄
稲 田 大 悟 神 谷 光史郎
大 田 光 俊 牧 聡

独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター整形 大 河 昭 彦
千葉市立青葉病院整形 村 上 正 純

第12回 平成27年度

若手部門

大腿骨転子部骨折術後に発症した仮性動脈瘤の1例

千葉メディカルセンター 木 下 英 幸 橋 本 将 行
平 山 次 郎 藤 田 耕 司
竹 内 慶 雄 岩 崎 潤 一
山 崎 博 範 北 村 充 広
森 川 嗣 夫

基礎部門

長期保存凍結乾燥多血小板血漿の骨癒合促進効果

千葉大学大学院 志 賀 康 浩

臨床部門

小児期・思春期および若年成人期（AYA期）に発症した高悪性度の骨・軟部肉腫のサバイバーにおける結婚と妊孕性について

千葉県がんセンター 米 本 司 岩 田 慎太郎
鴨 田 博 人 石 井 猛

第13回 平成28年度

若手部門

大腿骨近位部骨折に対する早期手術の周術期合併症の比較検討

聖隷佐倉市民病院	穂積 崇史	岸田 俊二
	小谷 俊明	赤澤 努
	佐久間 毅	佐々木 裕
	上野 啓介	中山 敬太
	平松 翔	南 昌平

基礎部門

末梢神経障害性疼痛に対するVein Wrappingの疼痛抑制機序

千葉大学大学院 廣澤 直也

手指屈筋腱牽引によるA1 Pulleyの形態変化

千葉大学大学院 山崎 厚郎

臨床部門

第8頸椎神経根障害による下垂指症例に対する治療法の検討

千葉大整形	國府田 正雄	古齊 丈雄
	飯島 靖	矢藤 淳哉
	北村 充広	折田 純久
	稲毛 一秀	大 鳥 精司
千葉市立青葉病院	六角 智之	

第14回 平成29年度

若手部門

脊髄静脈への逆流を伴う脊髄硬膜外動静脈瘻8例の血管造影像の検討

成田赤十字病院	穂積 崇史	板橋 孝一
	喜多 恒次	板寺 英人
	川口 佳邦	萬納寺 誓泰
	林 浩一	府川 泰輔
	星 裕子	齋藤 正仁

基礎部門

サルコペニアにおける酸化ストレスの関与および抗酸化剤の効果の検討

千葉大学大学院 木下 英幸

臨床部門

低侵襲L5/S前方固定 (L5/S Oblique Lateral Interbody Fusion: OLIF51) 手技の確立と検証

千葉大整形 折田 純久

第15回 平成30年度

若手部門

超高齢者における人工肩関節全置換術の治療成績

船橋整形外科病院

嶋田洋平 高橋憲正
竹内康剛 濱田博成
星加昭太 上田祐輔
森岡健介 渡海守人
松木圭介 菅谷啓之

基礎部門

凍結乾燥多血小板血漿の薬理学活性の検討

千葉県がんセンター
千葉大整形

木下英幸 稲毛一秀
折田純久 阿部幸将
志賀康浩 乗本将丈
井上雅寛 古矢丈
海村朋孝 大鳥精司

臨床部門

手根管症候群を初発とした若年女性の全身性アミロイドーシスをともなう多発性骨髄腫の1例

東京女子医科大学 岩倉菜穂子

第16回 平成31年度（令和元年度）

若手部門

人工知能を用いた大腿骨近位部骨折の診断

千葉大整形
聖隷佐倉市民病院

山田有徳 牧 聡
岸田俊二

基礎部門

RNA-seqを用いた慢性疼痛モデルマウスの脊髄における遺伝子発現変化の検討

千葉大学大学院医学研究院 機能形態学

穂積崇史 山口淳
北城敬子 實石達也

臨床部門

リバーズ型人工肩関節置換術におけるNotchingの発生頻度と臨床成績

千葉大整形 嶋田洋平

第17回 令和2年度

若手部門

術前の立位時腰椎アラインメントが単椎間腰椎椎体間固定術の術後成績に及ぼす影響

東千葉メディカルセンター	大山秀平	井上雅寛
	渡辺敦也	中嶋隆行
	佐藤祐介	青木保親
千葉県立佐原病院	久保田剛	
千葉大整形	折田純久	大鳥精司
東邦大学医療センター 佐倉病院	中川晃一	

基礎部門

疼痛慢性期における脊髄の遺伝子発現プロファイルの特徴とCdk15の機能に関する検討

千葉大学大学院医学研究院 機能形態学	穂積崇史	澤井 撰
	北城敬子	實石達也
	山口 淳	

臨床部門

機械学習を用いた頸髄損傷の予後予測

千葉大整形	沖松 翔
-------	------

千整会奨励賞に関する規約

- * 千葉医学会整形外科例会で発表された演題の中で、次年度10月頃までの募集期間内に英文誌に採択されたものから特に優秀な3論文を対象とする。
(基礎部門1演題、臨床部門1演題、若手部門1演題)
- * 選考は募集期間終了後に選考委員による査読によって行う。
- * 選考は千葉大学の文部教官から選任した査読委員3名による採点に基づく。各論文の共同演者および所属グループに属する者は当該論文の査読委員から除外する。各査読委員が10点満点で点数をつけ、その合計点を以て選考委員長の総合評価を含め各部門の最優秀論文を決定する。
- * 採点は研究デザインおよび方法、研究テーマの妥当性と意義、結果の有用性などを総合的に評価する。
- * 最高得点を獲得した論文が複数ある場合はその全てに賞を与えることとする。
- * 受賞者へは賞状と賞金50,000円を授与する。

以上

千整会奨励賞 選考委員長
高橋 和久

演題プログラム

12月3日（金）

15：00 開会の辞 落合信靖先生

15：10～15：30 脊椎 基礎1 志賀康浩先生

1. Romosozumab 投与が骨癒合および骨強度に与える影響
－腰椎後側方固定術（PLF）モデルを用いた画像的および力学的試験での検討－
千葉大整形 向畑智仁
2. ラット腰椎後側方固定術（PLF）モデルにおけるRomosozumab投与による骨癒合促進効果に関する検討
千葉大整形 金勤東
3. ラット脊椎後側方固定術モデルにおけるdemineralized bone matrixおよびplatelet-rich plasma、骨髓液による骨癒合促進効果の検討
千葉大整形 小田切拓磨
4. MRI T2mappingを用いた腰椎黄色靭帯の定量評価に関する研究
－健常者と腰部脊柱管狭窄症患者との比較－
千葉大整形 高岡宏光

15：30～15：55 肩・肘 基礎 広沢直也先生

5. MIAによるラット肩関節炎モデルの組織学的評価
千葉大整形 伊勢昇平
6. ラットアジュバンド関節炎に対する拡散型体外衝撃波の影響
千葉大整形 平岡祐
7. 新鮮凍結屍体を用いたmodified L'Episcopo法併用リバーズ型人工肩関節置換術の腱移行位置における安定性の検討
千葉大整形 嶋田洋平

8. 肘内側側副靱帯の再建方法による固定強度の比較

千葉大整形 稲垣 健太

9. 肘関節内側側副靱帯における有限要素解析法の確立

千葉大整形 伊藤 陽介

16:00~16:30 手・バイオメカ基礎・臨床1 松浦 佑介 先生

10. 第一中手骨骨切り術におけるCM関節面の応力の評価

千葉大整形 久保田 憲司

11. 前腕骨間膜機能を考慮した前腕有限要素モデル作成について

千葉大整形 戸口 泰成

12. 皮質骨における材料特性換算式

千葉大整形 渡辺 丈

13. 新鮮凍結屍体と有限要素解析を用いた大腿骨近位部骨折の力学的挙動に関する検討

千葉大整形 矢野 斉

14. 母指対立運動の評価法の検討

千葉大整形 谷口 慎治

15. 手根管症候群手術検体におけるアミロイド陽性患者の特徴

千葉大整形 脇田 浩正

休憩

16:40~17:00 脊椎基礎2 牧 聡 先生

16. 脊髄圧迫を有する無症候性ラットの脊髄損傷モデルに対する除圧術は有効である

千葉大整形 沖松 翔

17. ラット脊髄慢性圧迫モデルを用いた圧迫性脊髄症発症機序の解明

千葉大整形 三浦正敬

18. 圧迫性脊髄症モデル動物に対する後方除圧術とエリスロポエチン製剤の併用治療効果

千葉大整形 白谷悠貴

19. 敵対的生成ネットワーク (GAN) による頸椎頸髄損傷のMRIモデリティコンバージョン

千葉大整形 弓手惇史

17:00~17:25

膝・足基礎

木村青児先生

20. 脂質異常に伴う軟骨変性における概日リズム遺伝子の発現変化に関する検討

千葉大整形 細川博昭

21. Muse細胞による軟骨再生の可能性～革新的治療を目指した基盤的研究～

千葉大整形 渡邊翔太郎

22. MIAを用いた慢性期膝OAモデルラットの確立とDF-HAの疼痛抑制効果の検討

千葉大整形 新井隆仁

23. 外反母趾の進行を予測する解剖学的因子の検討

千葉大整形 篠原将志

24. 外反母趾患者では、足部以外の体の痛みは足部特異的QOLを低下させる

千葉大整形 三上行雄

17:30~17:45

股基礎

瓦井裕也先生

25. 仰臥位透視下DAAアプローチでのTHAはインプラント設置精度を上昇させるか？

千葉大整形 神野敬士朗

26. MR neurographyを用いた大腿神経描出の有用性
- 股関節肢位による影響 -

千葉大整形 鶴見 要介

27. 関節炎におけるSemaphorin 3Gの役割について

千葉大整形 正田 純平

17:45~18:10

その他 基礎

向井 務晃 先生

28. 物体検出を用いた外傷患者の胸・腹・骨盤部CTにおける骨折スクリーニング

千葉大整形 井上 嵩基

29. 高脂血症モデルラットの筋および筋周囲組織内におけるペントシジン沈着に関する検討

千葉大整形 俊 徳保

30. CD69分子はTissue resident memory T cellの組織常在性を制御する

千葉大整形 平 沢 累

千葉大免疫発生学 岩村 千秋 栗山 祥子

中山 俊憲

31. iPS細胞由来血小板製剤およびrhBMP2製剤における骨形成の検討

千葉大学イノベーション再生医学 水木 誉凡 向井 務晃

小坂 健太郎 高山 直也

江藤 浩之

千葉大整形 志賀 康浩 大鳥 精司

32. sc-RNAseqによる誘導性気管支関連リンパ組織形成に関する新規細胞集団の解析

千葉大整形 菱谷 崇寿

千葉大免疫発生学 木内 政宏 平原 潔

中山 俊憲

12月4日(土)

7:45~8:10

脊椎 臨床1

折田純久先生

33. タンデム脊柱管狭窄症における脊椎アライメント評価と一段階手術の有用性について

独立行政法人国立病院機構 下志津病院 小林 樹 佐藤 崇司
鈴木 宗貴 玉井 浩
山中 一
千葉大整形 江口 和

34. 患者適合型ガイド使用によるCBT PLIFにおける術中被曝量の検証

地方独立行政法人 さんむ医療センター 永 寫 優 樹 石川 哲大
葛城 穰 佐々木 康人
鈴木 雅博 海村 朋孝
澤田 良平 橋場 大輔
八本 直季

35. TLIF後に左腸腰筋血腫を生じた1例

新東京病院 山川 奈々子 高野 光

36. 40歳以上女性の腰椎変性側弯における骨格筋量・骨密度の2年間の経時的変化

千葉大整形 水谷 雅哉 江口 和
折田 純久 稲毛 一秀
志賀 康浩 大鳥 精司
千葉きぼーるクリニック 豊口 透

37. 腰椎変性側弯症に対するOLIFの椎間孔開大効果

習志野第一病院 齋藤 隼 中村 伸一郎
木下 知明 鎌田 尊人
萩原 雅司 三橋 繁
杉岡 佳織 菅野 真彦
三橋 稔

8 : 10 ~ 8 : 35

股・リウマチ 臨床1

中 村 順 一 先生

38. 人工股関節置換術後7年で発症したchronic expanding hematomaに対して再置換術を施行した1例

千葉大整形	手塚悠介	神野敬士朗
	中村順一	萩原茂生
	瓦井裕也	矢野 齐
	鶴見要介	正田純平
	平沢 累	大鳥精司

39. 変形性股関節症患者における骨盤傾斜の検討

千葉労災病院	山縣寛之	清水 耕
	池田義和	中島文毅
	橋本光宏	阿部圭宏
	守屋拓朗	秋本浩二
	今井英雄	永井春樹

40. 放射線照射後の股関節障害に対して前方アプローチによるTHAを行い坐骨神経麻痺をきたした1例

千葉大整形	八本直季	正田純平
	鶴見要介	神野敬士朗
	矢野 齐	瓦井裕也
	萩原茂生	中村順一

41. 変形性股関節症に伴う腸恥滑液包炎により大腿神経麻痺を呈した1例

千葉大整形	飯田大輔	矢野 齐
	萩原茂生	平沢 累
	鶴見要介	正田純平
	神野敬士朗	瓦井裕也
	中村順一	

42. 関節リウマチ患者でのビスホスホネート製剤と抗RANKL抗体製剤の投与症例の比較検討

富士整形外科病院 北村 昂 己 渡邊 英一郎
山崎 修 司 高森 尉 之
木島 丈 博 河野 開 紀
望月 眞 人 圓井 芳 晴

8：40～9：00 脊椎 臨床2 牧 聡 先生

43. 環軸椎関節症に対して環椎後弓スクリューを用いて環軸椎後方固定を行った1例

地方独立行政法人 国保旭中央病院 具志堅 翔 新 昶 正 明
濱田 剛 史 渡慶次 壮一郎
山内 友 規 川村 剛 以
杉山 宏

44. 頚椎前方除圧固定術の術後成績に関わる因子の検討

柏市立柏病院 岩田 秀 平 池田 修
池川 直 志 南 徳 彦
森永 達 夫

45. 頚椎椎弓形成術におけるプレートとHAスペーサーによる椎弓固定方法の比較と検討

千葉県済生会習志野病院 荒木 貴 裕 鳥飼 英 久
原田 義 忠 井上 雅 俊
宮城 仁 榎本 圭 吾
野本 堯 吉川 恵

46. 日本外傷データベースから考察する頚髄損傷を有する頚椎損傷の臨床像

都立墨東病院救命救急センター 北川 恭 太 高岡 宏 光
小曾根 英 武田 拓 時
寺村 晋 瀬戸嶋 祐 輔
佐井 光 一

休 憩

9 : 10 ~ 9 : 35

膝 臨床

赤 木 龍一郎 先生

47. 高位脛骨骨切り術におけるAscending cutとDescending cutの術後成績の比較検討

東邦大学医療センター 佐倉病院	吉 田 有 希	中 川 晃 一
	赤 津 頼 一	中 島 新
	園 部 正 人	斎 藤 淳 哉
	乗 本 将 輝	山 田 学
	小 山 慶 太	山 本 景一郎
	中 野 志 保	中 島 貴 子

48. 変形性膝関節症に対し腓骨骨切り術を施行した1例

成田赤十字病院	永 井 彬 登	府 川 泰 輔
	小 島 匠 平	船 登 規 孝
	鈴 木 健 司	三 浦 道 明
	星 裕 子	岡 本 聖 司
	萬納寺 誓 人	川 口 佳 邦
	板 寺 英 一	喜 多 恒 次
	板 橋 孝	

49. Forgotten Joint Score 12を用いたACL再建術の術後1年と2年での成績比較

千葉大整形	佐々木 徹	渡 邊 翔太郎
	赤 木 龍一郎	堀 井 真 人
	細 川 博 昭	篠 原 将 志
	三 上 行 雄	戸 口 郁
	木 村 青 児	
千葉大大学院国際学術研究院	山 口 智 志	
千葉大予防医学センター・運動器疼痛疾患学	佐 粧 孝 久	

50. 大腿骨滑車部低形成を伴う膝蓋骨不安定症に対しPFAを施行した1例

千葉大整形	守 屋 美知瑠	赤 木 龍一郎
	堀 井 真 人	山 口 智 志
	木 村 青 児	渡 邊 翔太郎
	篠 原 将 志	細 川 博 昭
	三 上 行 雄	戸 口 郁
	佐 粧 孝 久	

51. 脛骨高原骨折に対するILIZAROV創外固定器による治療

千葉県立佐原病院 佐久間 亮 輔 紺 野 健 太
坂 本 卓 弥 大 山 秀 平

9 : 35~10 : 00

脊椎 臨床 3

稲 毛 一 秀 先生

52. 椎体骨折を伴う脊柱管狭窄症に対するリン酸カルシウム骨ペーストと自家骨を使用した経椎間孔腰椎椎体間固定術の小経験

千葉メディカルセンター 池 田 耀 介 平 山 次 郎
藤 田 耕 司 橋 本 将 行
岩 崎 潤 一 齋 藤 雅 彦
山 崎 博 範 芝 山 昌 貴
縄 田 健 斗

53. 胸腰椎椎体骨折手術患者におけるインプラント抜去後の臨床症状変化に関する検討

東千葉メディカルセンター 武 田 昂 典 青 木 保 親
中 嶋 隆 行 佐 藤 祐 介
佐 藤 雅 葉 佐 俊
岩 崎 龍太郎 柳 澤 啓 太
濱 野 寛 之 酒 井 晋二郎

54. 高度側弯を有する若年者の腰椎不安定性骨折の1例

千葉大整形 真 先 勇 太 向 畑 智 仁
志 賀 康 浩 牧 聡
稲 毛 一 秀 江 口 和
折 田 純 久 古 矢 丈 雄
大 鳥 精 司
都立墨東病院 高 岡 宏 光
新東京病院 高 野 光
聖隷佐倉市民病院 小 谷 俊 明

55. 仙骨骨折に対する新たな骨盤内後方固定術

聖隷横浜病院	大田光俊	木内均
	竹下宗徳	横谷純子
	山田寛明	天野景治
地方独立行政法人 さんむ医療センター	石川哲大	海村朋孝

56. 整形外科医では診断困難だった、右大腿部痛を呈する『ヘルニア』の1例

聖隷佐倉市民病院	鈴木徳孝	岸田俊二
	小谷俊明	佐久間毅
	上野啓介	飯島靖
	梶原大輔	坂下孝太郎
	奥山晃平	中野志保
	稲熊佳代	野莉家舜
	梅田涼	南昌平

休 憩

10:10~10:40

小児

及川泰宏先生

57. 若年性特発性関節炎における脚長差をもたらす要因の調査

千葉県こども病院	布目愛紗	柿崎潤
	及川泰宏	安部玲
	山中理菜	中川知郎

58. 大腿骨遠位骨端線損傷後に生じた脚長差・下肢変形

千葉大整形	川口大貴	
千葉県こども病院	柿崎潤	及川泰宏
	安部玲	布目愛紗
	山中理菜	中川知郎
千葉こどもとおとなの整形外科	都丸洋平	亀ヶ谷真琴
	西須孝	

59. 同側の膝蓋骨および脛骨粗面の裂離骨折をきたした小児の1例

熊谷総合病院 寺川文英 太田秀幸
橋本健 伊藤俊紀
今野慎

60. COVID19感染拡大前後での小中学生の膝痛発生率

千葉大整形 堀井真人

61. The Hospital for Special Surgery Pediatric Functional Activity Brief Scale (HSS Pedi-FABS) の日本語訳作成と妥当性の検証

千葉大学医学部附属病院スポーツメデイクスセンター 穂積崇史 赤木龍一郎
寺谷俊康 木村青児
山口智志 大鳥精司

62. 千葉県内における小児骨折治療の現状調査

千葉大整形 佐久間昭利

10:40~11:05

手 臨床2

赤坂朋代先生

63. 中央陥没骨片を有するAO typeCの橈骨遠位端骨折治療

千葉大整形 西石垣誠友 脇田浩正
鈴木崇根 赤坂朋代
金塚彩 谷口慎治
戸口泰成 渡辺丈
伊藤陽介 久保田憲司
佐久間昭利 松浦佑介

64. Dual Energy CTが痛風結節の診断に有用であった1例

千葉大整形 遠藤雄二 渡辺丈
鈴木崇根 赤坂朋代
金塚彩 向井務晃
谷口慎治 脇田浩正
戸口泰成 佐久間昭利
伊藤陽介 久保田憲司
松沢優香里 松浦佑介

65. 陳旧性月状骨脱臼の解剖学的整復を試みた1例

千葉大整形	酒井晋二郎	松浦佑介
	谷口慎治	脇田浩正
	戸口泰成	渡部丈
	佐久間昭利	伊藤陽介
	久保田憲司	

66. 急性期治療として骨間膜修復を行ったEssex-Lopresti脱臼骨折の1例

千葉大整形	野村大樹	脇田浩正
	鈴木崇根	赤坂朋代
	金塚彩	谷口慎治
	戸口泰成	渡辺丈
	伊藤陽介	久保田憲司
	佐久間昭利	松浦佑介
地方独立行政法人 国保旭中央病院	濱田剛史	

67. ギオン管内に発生した尺骨神経内ガングリオンの1例

松戸整形外科病院	森本美希	樋渡龍史
	徳永進	松戸隆史
	岩本靖彦	石毛徳之
	丹野隆明	安宅洋美
	神川康也	山本晋士
	萩野修平	石井壮郎
	平松翔	

休憩

11:15~11:40

腫瘍

木下英幸先生

68. 腹壁および大腰筋に再発した脱分化型脂肪肉腫の1例

千葉大整形	伊東遥輝	
千葉県がんセンター	鴨田博人	萩原洋子
	木下英幸	植田暢
	石井猛	米本司

69. 大腿骨骨肉腫の再発に対し腫瘍切除術後に尿管損傷が判明した1例

千葉大整形	庄田百佑		
千葉県がんセンター	鴨田博人	萩原洋子	
	木下英幸	植田暢	
	石井猛	米本司	

70. 頸髄に発生したダンベル型ユーイング肉腫の1例

千葉県がんセンター	植田暢	鴨田博人	
	米本司	萩原洋子	
	木下英幸	塚西敏則	
	石井猛		
東邦大学医療センター 佐倉病院	乗本将輝	小山慶太	
	斎藤淳哉		
千葉大整形	古矢丈雄		

71. 既存の抗がん剤の適応拡大に向けた肉腫細胞株のプロテオーム解析

国立がん研究センター研究所・希少がん研究分野	秋山太郎	吉松有紀	
	野口玲	申育實	
	土屋流人	小野拓也	
	近藤格		
国立がん研究センター中央病院・病理科	吉田朗彦		
国立がん研究センター中央病院・骨軟部腫瘍科	川井章		
千葉大整形	大鳥精司		

72. 質量分析と患者由来肉腫細胞株により同定した悪性末梢神経鞘腫の新規治療薬候補

千葉大整形	土屋流人	秋山太郎	
国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	岩田慎太郎	川井章	
国立がん研究センター研究所 希少がん研究分野	近藤格		

11:40~12:05

脊椎 臨床 4

江 口 和 先生

73. 腰痛を主訴とする腰椎変性すべり症に対して椎間関節固定術を施行した1例

松戸市立病院	賀 鵬	宮 下 智 大
	加 藤 啓	飯 田 哲
	河 本 泰 成	品 田 良 之
	鈴 木 千 穂	佐 野 栄
	宮 本 周 一	

74. 難治性慢性腰痛に対する認知行動療法の実践

千葉大学未来医療教育研究機構	清 水 啓 介	
千葉大整形	稲 毛 一 秀	折 田 純 久
	志 賀 康 浩	江 口 和
	古 矢 丈 雄	牧 聡
	大 鳥 精 司	

75. L5症状の腰部脊柱管狭窄症に対してL2/3レベルの椎弓切除が著効した1例

千葉大整形	河 野 真奈実	小田切 拓 磨
	志 賀 康 浩	山 内 かづ代
	古 矢 丈 雄	折 田 純 久
	稲 毛 一 秀	江 口 和
	牧 聡	穂 積 崇 史
	大 鳥 精 司	

76. 脊椎後方手術におけるロピバカイン+トラネキサム酸局所投与の効果

西能病院	福 島 駿	西 能 健
	堂 後 隆 彦	山 田 均

77. 腎移植患者における腰椎手術の治療成績

千葉大整形	田 山 将 暉	穂 積 崇 史
	折 田 純 久	稲 毛 一 秀
	江 口 和	志 賀 康 浩
	大 鳥 精 司	

昼 食

12:40~13:00

足 臨床

山 口 智 志 先生

78. 関節鏡視下足関節固定術における骨癒合不全の関連因子の検討

船橋整形外科病院 中 嶋 啓 文 高 橋 謙 二
山 浦 一 郎 酒 井 洋 紀
蟹 沢 泉 土 屋 明 弘

79. 自家腱を用いた足関節鏡視下前距腓靭帯修復再建術と前脛距靭帯再建術を併用した経験

北里大学 東 山 礼 治 宮 城 正 行
見 目 智 紀 井 上 玄
高 相 晶 士

80. 変形性足関節症を伴う再発性の母趾ガングリオンに対する後足部内視鏡による間接的ドレナージ

千葉大整形 阿 部 照 木 村 青 児
三 上 行 雄 戸 口 郁
渡 邊 翔太郎 細 川 博 昭
篠 原 将 志 堀 井 真 人
赤 木 龍一郎
千葉大学国際学術研究院 山 口 智 志
千葉大学予防医学センター 佐 粧 孝 久

81. 観血的治療を要した第5趾MTP関節脱臼の1例

船橋中央病院 山 田 有 徳 佐々木 俊 秀
手 塚 悠 介 阿 部 幸 喜
山 下 正 臣 山 岡 昭 義
山 下 桂 志

13：00～13：15

肩 臨床

橋 本 瑛 子 先生

82. 高齢者に対する鏡視下腱板修復術の術後成績

船橋整形外科病院	服 部 史 弥	松 木 圭 介
	佐々木 裕	森 岡 健
	上 田 祐 輔	星 加 昭 太
	濱 田 博 成	高 橋 憲 正
東京スポーツ&整形外科クリニック	渡 海 守 人	菅 谷 啓 之

83. パーキンソン病患者に対する反転型人工肩関節全置換術の臨床成績

千葉大整形	森 安 理 紗	落 合 信 靖
	橋 本 瑛 子	広 沢 直 也
	嶋 田 洋 平	伊 勢 昇 平
	稲 垣 健 太	平 岡 祐

84. 当科における鎖骨遠位端骨折の手術治療成績

金沢病院	森 貴 大	有 馬 準之助
	佐久間 詳 浩	高 橋 仁
	高 山 篤 也	

13：15～13：45

脊椎 臨床 5

古 矢 丈 雄 先生

85. 当院における胸椎椎間板ヘルニア後方摘出術の治療成績

千葉労災病院	永 井 春 樹	池 田 義 和
	中 島 文 毅	橋 本 光 宏
	阿 部 圭 宏	守 屋 拓 朗
	秋 本 浩 二	山 縣 寛 之
	今 井 英 雄	清 水 耕

86. 膀胱直腸障害を主症状として下肢筋力低下を認めなかった頸胸移行部特発性硬膜外血腫の1例

千葉大整形 飯田 昂 大 三 浦 正 敬
牧 聡 沖 松 翔
井上 嵩 基 弓 手 惇 史
白谷 悠 貴 志 賀 康 浩
稲毛 一 秀 江 口 和
折田 純 久 古 矢 丈 雄
大鳥 精 司

87. 大理石病患者の黄色靭帯骨化症の1例

成田赤十字病院 船登 規 孝 喜 多 恒 次
板寺 英 一 川 口 佳 邦
萬納寺 誓 人 岡 本 聖 司
府川 泰 輔 星 裕 子
三浦 道 明 鈴 木 健 司
永井 彬 登 小 島 匠 平
板橋 孝

88. 黄色靭帯骨化再発に対する骨化巣切除術後に硬膜外癒痕により脊髓障害を生じた1例

独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター 森川 友 貴 大 河 昭 彦
村上 宏 宇 林 浩 一
柿沼 康 平 岩 中 美 聡
阿部 功

89. 当院で終糸症候群に対して終糸切離術を施行した12例の神経所見と術後経過の検討

帝京大学ちば総合医療センター 中根 涼 和田 佑 一
重村 知 徳 山本 陽 平
丸山 隼太郎 村田 泰 章

90. 母趾位置覚障害を有する脊髄腫瘍手術例は術後早期の歩行機能回復が遅延する
 千葉大学医学部附属病院 リハビリテーション部 深 田 亮 赤 坂 朋 代
 村 田 淳
 千葉大整形 古 矢 丈 雄 金 勤 東
 大 鳥 精 司
 千葉大学医学部附属病院 臨床試験部 仕 子 優 樹 川 崎 洋 平

休 憩

13：55～14：30 股 臨床2 萩 原 茂 生 先生

91. 不安定型大腿骨転子部骨折に対するTFNA middle nailの術後成績
 君津中央病院 船 石 裕 樹 大 塚 誠
 田 中 正 藤 由 崇 之
 小 川 裕 也 宮 本 卓 弥
 山 崎 貴 弘 矢 崎 めぐみ
 北 條 篤 志 降 旗 裕 博
 米 井 梨 華

92. 大腿骨転子部骨折におけるナビゲーションシステム使用の小経験
 長生病院 田 代 奨 小笠原 明
 丸 田 哲 郎 政 木 豊
 小 野 豊

93. BMDは大腿骨転子部の骨折型に影響を及ぼすか
 千葉市立青葉病院 佐 藤 貴 允 坂 本 雅 昭
 輪 湖 靖 宮 原 萌
 鍋 島 欣志郎 寺 川 寛 朗
 山 口 毅 山 田 俊 之
 渡 邊 仁 司 茂手木 博 之
 六 角 智 之

94. 当院の大腿骨頸部骨折と転子部骨折の術後生命予後の検討
 金沢病院 有 馬 準之助 佐久間 詳 浩
 高 橋 仁 森 貴 大
 高 山 篤 也

95. 高齢者の大腿骨頸部骨折に対する人工骨頭挿入術における固定様式の異なるセメントレスシステムの短期成績の比較

沼津市立病院 吉村 眞 小野 嘉允
向山 俊輔 相庭 温臣
門田 領 斉藤 三四郎
土岐 恭範 野口 裕司
下山 勝仁

96. 機械学習を用いた日本リハビリテーション・データベースの1877例に基づく大腿骨近位部骨折患者の歩行能獲得予測モデルの構築

千葉大整形 高山 泰享 牧 聡
折田 純久 大鳥 精司

97. 前立腺癌多発骨転移による両側同時大腿骨頸部病的骨折に対して手術加療を施行した1例

国立国際医療研究センター 国府台病院 眞木 成美 中川 量介
藤本 和輝 新井 元

14:30~14:50

その他

松浦佑介先生

98. 化膿性脊椎炎と化膿性関節炎を併発した4症例

船橋市立医療センター 池崎 隆三郎 鮫田 寛明
池之上 純男 染谷 幸男
大原 建 米屋 貴史
岩井 達則 高野 冴加
三村 雅也

99. 脊椎固定術後難治性感染に対しintra-soft tissue antibiotics perfusionが著効した2例

千葉大整形 高田 一晃 新井 隆仁
志賀 康浩 折田 純久
江口 和 稲毛 一秀
穂積 崇史 金 勤 東
古矢 丈雄 牧 聡
大鳥 精司

100. 病的骨折をきたした下腿開放骨折術後慢性骨髓炎に対して髓内釘を用いたCLAPで治癒し得た1例

千葉県救急医療センター 林 伸 晃 姫 野 大 輔
新行内 龍太郎 稲 田 大 悟

101. 開心術後縦隔炎治療戦略のパラダイムシフト

～CLAPにより感染制御し自宅退院し得た83歳男性の1例～

千葉県救急医療センター 新行内 龍太郎 姫 野 大 輔
林 伸 晃 稲 田 大 悟

14：50～15：00 奨励賞発表 高 橋 和 久 先生

15：00～15：10 Award発表 南 昌 平 先生

15：10～15：20 閉会の辞 大 鳥 精 司 教授

